

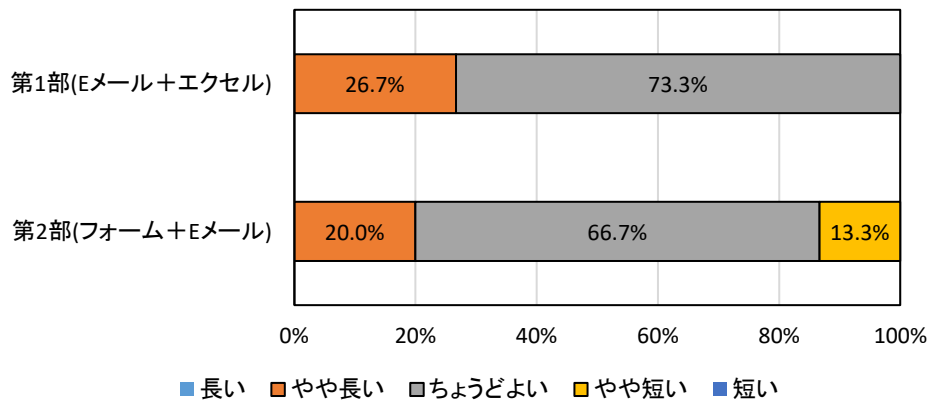
## 情報伝達訓練(令和7年10月16日) 実践後アンケート結果

### 1. アンケート概要

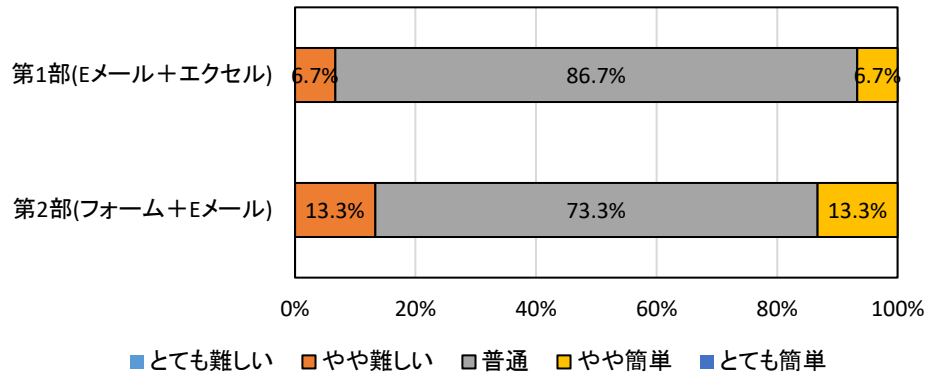
対象者 : 出席者のうち、県・市の方(16名)  
 アンケート期間 : 10/16(木)～21(火)  
 回答数 : 15件  
 回答率 : 約94%

### 2. アンケートの設問及び回答について

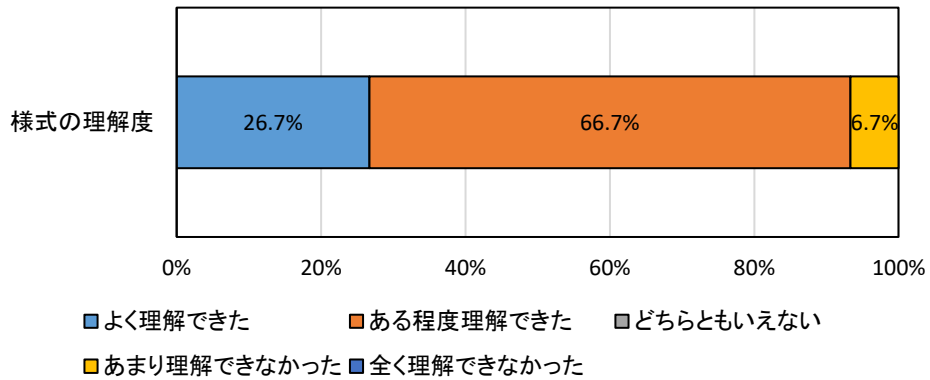
#### ① 訓練時間の長さについてどのように感じましたか。



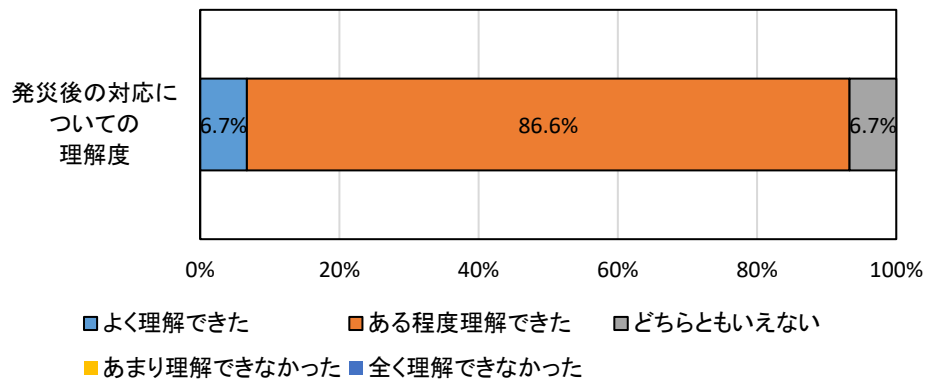
#### ② 訓練の難易度についてどのように感じましたか。



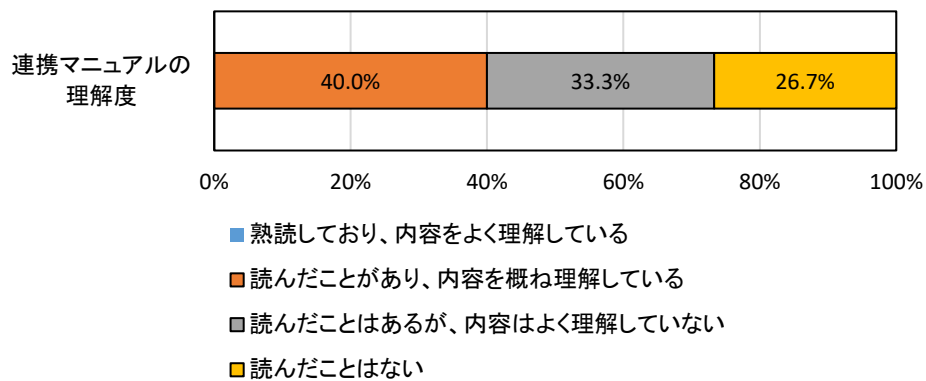
③ 各様式の用途について、理解度を教えてください。



④ 上記と関連し、訓練を通して発災後の対応についてどの程度理解が深まったか教えてください。



⑤ ブロック内連携マニュアルの理解度について教えてください。



⑥ 様式についてのご意見・改善点(エクセル様式、アンケートフォームの使い勝手など)がありましたら、ご自由にご記入ください。

情報伝達訓練時の 立場	ご意見
県(幹事支援県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 2-5 の集計方法の理解が足らなかったかもしれませんが、集計結果のエクセルから支援可のみの市町村を、コピー&amp;ペーストで集計表 B のエクセルへの集約が手間取りました。</li> <li>本来の使用方法は、資料 4(参考)集計表 B は使用せず、集計結果のエクセルを合体させるだけでよろしかったのでしょうか。</li> <li>※事務局注</li> <li>• 本年度の訓練では、連絡用紙 2 のアンケートフォーム回答を出力したものをそのまま集計表 B とする想定でした。(集計結果のエクセルを 3 県分合体させるのみで、連絡用紙 2⇒集計表 B への転記作業はなし)</li> <li>• 現行のブロック内連携マニュアルの運用では、連絡様式 2(エクセル様式)に記入いただいた内容を集計表 B(エクセル様式)に集約する必要があります。</li> <li>• アンケートフォームで回答すると集計する側は楽に情報を抽出することができて良いと思う。</li> </ul>
県(支援県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不慣れだったため、難しかったが、様式についての意見は特にありません。</li> <li>• アンケートフォームのエクセル出力について教えてほしい。</li> <li>• アンケートフォームはリアルタイムで回答が見られるため便利だと思った。</li> <li>• ただ、第 1 部の集計表の Excel に都道府県名が入っていなかったため、国や幹部支援県が Excel で集計するとき不便かもしれないと思った。</li> </ul>
市(支援県内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ともに入力しやすかったです。アンケートフォームは入力箇所多く感じましたが、情報を共有するためにもいたしかたないと認識しています。</li> </ul>
市(被災県内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人的な意見ですが、アンケートフォームよりも Excel 様式の方が、入力内容を一画面で確認ができ修正も容易であるため、利便性が高いと感じました。</li> <li>• 「送信回数〇回目」は、その伝票の送信回数なのか、相手(市町村なら県)とのやり取り回数なのかわからなかった。</li> <li>• アンケートフォームは使いやすくてよかった。</li> <li>※事務局注</li> <li>• 送信回数欄は、その伝票の送信回数を記入いただくことを想定しています。(被災状況などの情報が随時更新されるため)</li> <li>• 「資料 4 連絡用紙 1」について、エクセルでプルダウンを作成しているのであれば、わざわざ選択肢の行を設ける必要がないと思う。</li> </ul>

⑦ そのほか、訓練についてのご意見などありましたら、ご自由にご記入ください。

情報伝達訓練時の 立場	ご意見
県(幹事支援県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災県から集計表Cを受け取った幹事支援県は、REO九州にも当該集計表Cを送付した方がよいと思いました。</li> <li>現状では、集計表Bのみの送付にとどまっておりますので、今後は併せて集計表Cの送付もご検討いただければと思います。</li> </ul>
県(支援県)	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害の際は、慌てるので、今回事前準備ができていなかったが、メールを送信する際には、セキュリティによる送信ができない場合があるので、支援していただける例えば業者などとの通信について、落ち着いて対応が必要だと感じた。</li> <li>午前中に情報伝達の流れ・各様式の入力方法・メールの作成を行い、午後その内容に沿って実際のやり取りを行うような内容にしてほしい。参加者の気持ちの余裕ができるのではないのでしょうか。</li> <li>災害時に停電の影響でパソコンが使えないなどの状況もあるかもしれないし、常にパソコンの前にいるのも難しいと考えた。</li> <li>また、被害状況を把握するときにはホワイトボードや紙、FAXなど、手書きの者が使いやすいと考えられるため、電話やFAXを利用した訓練もした方がよいのではないかと考えた。 また、メールは開封確認をつけないと既読かどうか不明なため、災害時の自治体のLINEworksのようなものがあれば便利だと思った。</li> </ul>
市(幹事支援県内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村目線では、このプル型支援のスキームを平時からの理解している自治体は、今回のような訓練に参加している一部の市に限られるのではないかと思います。</li> <li>国・県等から、研修等の機会を捉えてこのスキームについて説明していただくと、市町村側の平時の準備に組み込むことができるのではないかと思います。その際、77ページに及ぶマニュアルはなかなか読み切れないため、簡易版の資料があると良いと感じました。</li> </ul>
市(支援県内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の訓練でトラブルがあつて良かったと感じた。</li> <li>訓練前は順調に進行すると考えていたが、初期的な事でもトラブルになりえると認識できた。改めて訓練の必要性を実感できた。</li> </ul>
市(被災県内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市のセキュリティで自治体以外に送付の際、上司の承認が必要なのが問題でした。</li> <li>また、Web会議も同様にセキュリティに引っかかったので別途準備する必要があった。</li> <li>実際の災害を想定した訓練を試みてはどうかと思いました。(インターネットが使えない場合、電話しか使えない場合、など)</li> <li>また、災害廃棄物に関する県や市町村への援助要請・支援要請のルートが九州ブロック協議会以外にも九州市長会や各自治体独自ルートなど複数あるので、整理が必要ではないかと思いました。</li> <li>人的支援については、人事担当部局を通じて、派遣していることから、当該部局との連携も必要になってくる。</li> <li>発災の際、どの機能が活用でき、どの機能が活用できないのかをどのように知らせるのかというのも必要ではないか。</li> <li>例えば、ネットワーク関係に被害が生じたが電話回線は使える自治体とネットワークは使えるが電話の使用ができない自治体とかが出てきた場合も想定する必要があるのではないか。</li> </ul>

以上